

トビイロウンカの初誘殺を確認しました

1. 対象作物 水稻（早生及び晩生品種）

2. 対象病害虫名 ウンカ類（トビイロウンカ、セジロウンカ）

3. 発生状況

- (1) 海津市海津町の予察灯では、6 月 25 日にトビイロウンカ（1 頭）の初誘殺を確認し、6 月 27 日、28 日にも各 1 頭が誘殺されました。当該地点の予察灯における本虫の誘殺は過去 20 年間で平成 22 年、令和 2 年の 2 か年のみで、ともに 8 月以降の誘殺であったことから、本年の飛来は早い状況です。なお、他の 5 か所に設置している予察灯では、6 月 27 日時点で本虫の誘殺は確認されていません。
- (2) JPP-NET 提供のウンカ類（トビイロウンカ、セジロウンカ）の飛来解析によると、岐阜県には 5 月 17 日、18 日、21 日、29 日及び 6 月 4 日に飛来した可能性があり、6 月 5 日以降の飛来は予測されていません（7 月 1 日現在）。そのため、今回誘殺された成虫は、5 月に飛来した成虫の次世代成虫と考えられます。
- (3) 近県では和歌山県、大阪府、奈良県、静岡県、三重県でトビイロウンカの誘殺が確認されており、岐阜県でも広い範囲で飛来したと推察されます。

4. 防除対策

- (1) 有効積算温度によるトビイロウンカの発生予測によると、本年は飛来時期が早いため第 3 世代の発生に伴う被害が 8 月中旬から予想されます。そのため晩生品種だけでなく早生品種でも被害が発生する可能性があるため、必ず防除を行いましょう。
- (2) 品種ごと対策は以下のとおりです。
 - ①早生品種
 - ・ 7 月中旬は第 2 世代幼虫の発生時期にあたるため、薬剤による防除を行いましょう。
 - ②晩生品種
 - ・ 移植時に箱施用剤などでウンカ類防除を行っていない場合や、箱施用剤の農薬成分がウンカ類に対して効果の低いものである場合は、7 月中旬・8 月中旬に防除を行いましょう。
 - ・ 8 月中旬は第 3 世代幼虫の発生時期にあたるため、防除を行いましょう。
- (3) 本虫は株元に生息するので、散布剤を用いて防除する場合は薬液が株元に十分かかるよう散布してください。



図1 令和2年に発生したトビイロウンカによる
坪枯れ被害の状況



図2 トビイロウンカ老齢幼虫（左）と
長翅型成虫（右）



図3 令和2年トビイロウンカ多発生ほ場における
寄生状況

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報検索システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病害虫防除所
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>